

事業所等の自衛水防に役立つ 情報の提供について

平成25年9月

国土交通省 水管理・国土保全局

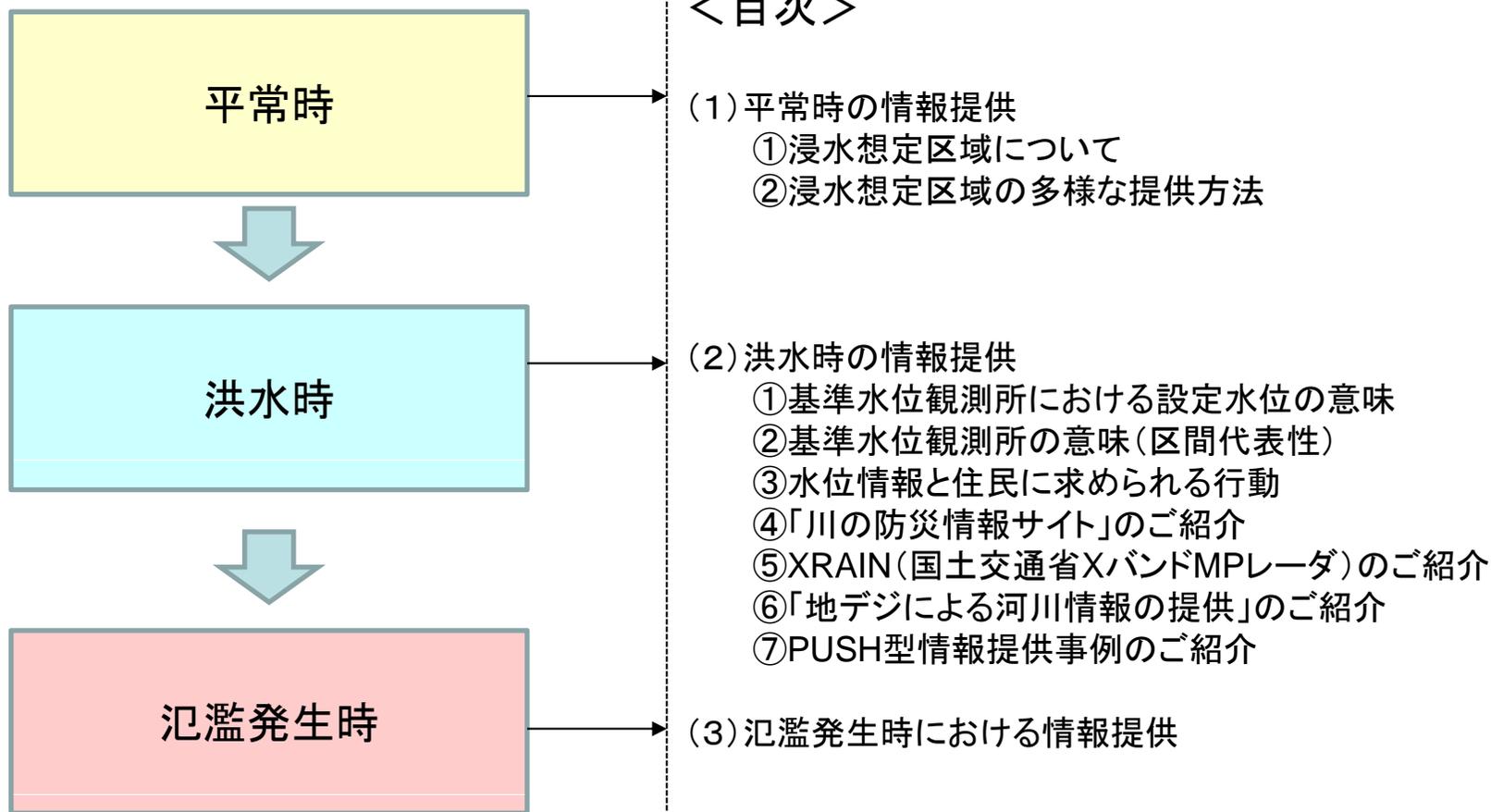
河川環境課 水防企画室

本資料の目的と内容

この資料は、自衛水防をご検討される事業所等の所有者又は管理者を対象に、自衛水防に役立つ情報のご紹介と入手方法等についてまとめたものです。

水害時の対応や、避難確保・浸水防止計画の作成、訓練の実施等にお役立て下さい。

【この資料の見方】



<目次>

- (1) 平常時の情報提供
 - ① 浸水想定区域について
 - ② 浸水想定区域の多様な提供方法
- (2) 洪水時の情報提供
 - ① 基準水位観測所における設定水位の意味
 - ② 基準水位観測所の意味(区間代表性)
 - ③ 水位情報と住民に求められる行動
 - ④ 「川の防災情報サイト」のご紹介
 - ⑤ XRAIN(国土交通省XバンドMPLレーダ)のご紹介
 - ⑥ 「地デジによる河川情報の提供」のご紹介
 - ⑦ PUSH型情報提供事例のご紹介
- (3) 氾濫発生時における情報提供
- (4) 災害情報普及支援室一覧
- (5) 洪水予報河川及び水位周知河川一覧 【別表】

※上記の各段階に分けて、提供可能な情報をご紹介します。

(1) 平常時の情報提供

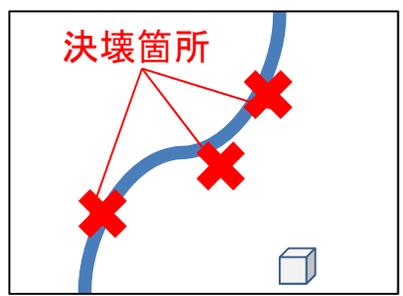
(1) 平常時の情報提供 ～①浸水想定区域について～

○平常時から、浸水が想定される区域と、その浸水深を事前にお知らせすることで、避難確保や浸水防止に役立てていただくため、国又は都道府県では「浸水想定区域」を公表しています。

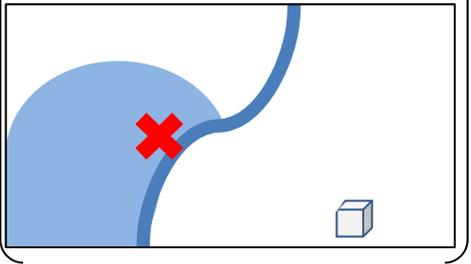
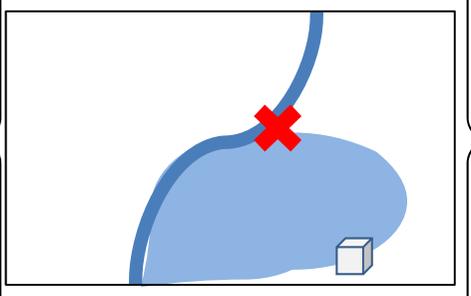
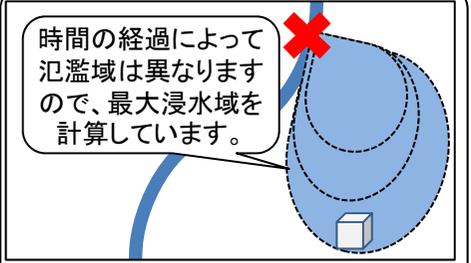
| | |
|-----------------|---|
| 浸水想定区域を作成する対象河川 | 「洪水予報河川」: 水位等の予測が技術的に可能な、流域面積が大きな河川 |
| | 「水位周知河川」: 流域面積が小さく、洪水予報を行う時間的余裕がないため、あらかじめ定めた水位の到達情報を周知する河川 |

浸水想定区域図の作成手順

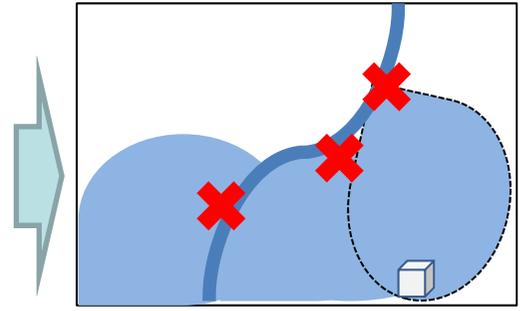
河川の洪水防御のための計画の基本となる降雨で計算

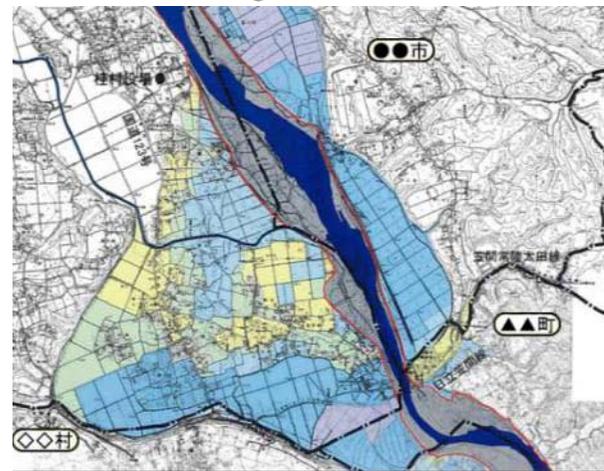
①複数の決壊箇所を想定します。



②それぞれの最大浸水域を計算します。



③浸水域を重合させます。

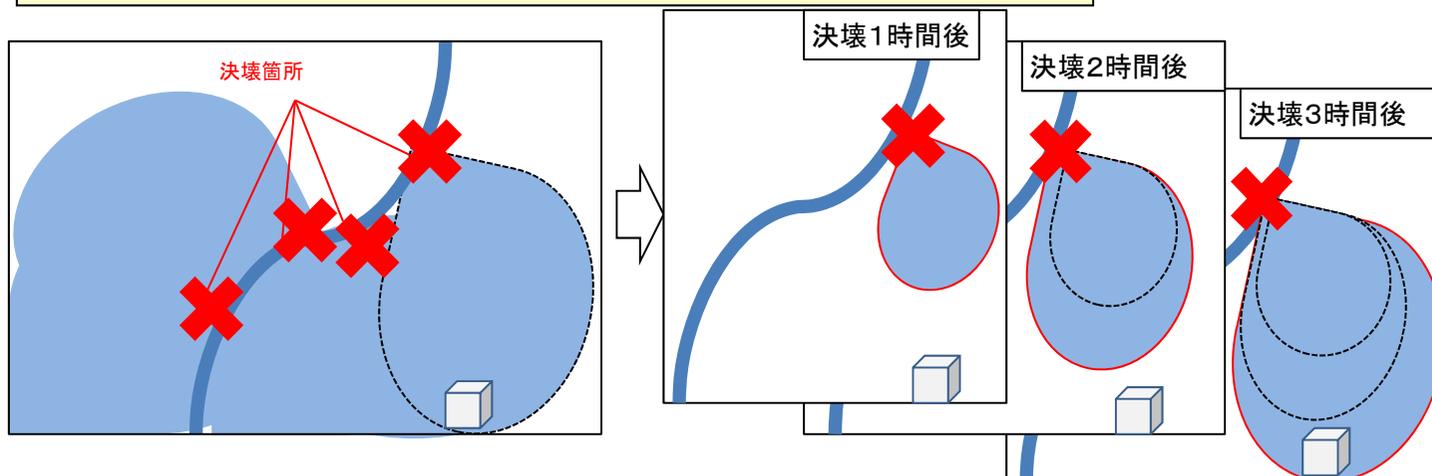


④浸水想定区域の公表

(1) 平常時の情報提供 ～②浸水想定区域の多様な提供方法～

一部河川では、浸水想定区域の作成過程で算出された時系列データをもとに、多様な情報の提供を行っております。

【情報提供例①】地点別、時系列の浸水想定区域の提供



【情報提供例②】動く浸水想定区域 (HPに動画的に表示)

